Cisco Expresswayシリーズのリモートコード実行の脆弱性



Advisory ID : cisco-sa-vcs-static-cred-hr7EWZ8t
初公開日 : 2026-10-21 16:00
バージョン 1.0 : Final
CVSSスコア : 9.8
回避策 : No workarounds available
Cisco Bug ID : CSCww27732

CVE-2026-76466

日本語の情報は原文の英語の非公式な翻訳です。日本語と英語のバージョンに相違がある場合は、英語のバージョンが優先されます。

概要

Cisco Expresswayシリーズのデータベースサービス機能における脆弱性により、Cisco Expresswayデバイスへのネットワークアクセスを持つ認証されていないリモートの攻撃者が、rootとして任意のオペレーティングシステムコマンドを実行できる可能性があります。

この脆弱性は、永続的なcookieの使用に起因します。また、クラスタリングに対してTLS検証モードが有効に設定されていると、クライアント証明書の検証が不十分になり、クライアント証明書が検証されません。Cookieを所有する攻撃者は、データベースサービスに接続し、特定のリモートプロシージャコール(RPC)コマンドを呼び出すことで、この脆弱性を不正利用する可能性があります。エクスプロイトに成功すると、攻撃者は該当デバイスの基盤となるオペレーティングシステムでrootとして任意のコマンドを実行できる可能性があります。

注：Cisco Expresswayシリーズは、Cisco Expressway Core(Expressway-C)デバイスとCisco Expressway Edge(Expressway-E)デバイスを指します。

この脆弱性に対処するソフトウェア アップデートは、すでにシスコからリリースされています。この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザリは、次のリンクより確認できます。
https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-vcs-static-cred-hr7EWZ8t

本アドバイザリは一連のアドバイザリの一部です。アドバイザリの完全なリストおよび各アドバイザリへのリンクについては、「Cisco Advance Notification for Publication of October 21, 2026, Security Advisories」を参照してください。また、Cisco Expresswayシリーズの改善と修正に関するその他のドキュメントについては、『Cisco Expresswayシリーズセキュリティ強化リリース

：2026年10月』を参照してください。

該当製品

脆弱性のある製品

この脆弱性は、Cisco Expressway-CおよびCisco Expressway-E（仮想バージョンとアプライアンスバージョンの両方）で脆弱性のあるリリースが実行されており、デバイスがクラスタで設定されている場合に影響を与えます。

脆弱性が存在する Cisco ソフトウェアリリースについては、このアドバイザリの修正済みソフトウェアセクションを参照してください。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

このアドバイザリの「脆弱性のある製品」セクションに記載されている製品のみが、この脆弱性の影響を受けることが分かっています。

回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

修正済みソフトウェア

シスコでは、回避策や緩和策（該当する場合）は、修正済みソフトウェアリリースへのアップグレードが利用可能になるまでの一時的な解決策であると考えています。この脆弱性を修正し、本アドバイザリに記載されているような将来のリスクを回避するために、シスコでは、本アドバイザリに記載されている修正済みソフトウェアにアップグレードすることを強く推奨します。

修正リリース

次の表では、左の列にシスコ ソフトウェアリリースを記載しています。右側の列は、リリースがこのアドバイザリに記載されている脆弱性の影響を受けるかどうか、およびこの脆弱性に対する修正を含む最初のリリースを示しています。このセクションの表に記載されている適切な修正済みソフトウェアリリースにアップグレードすることをお勧めします。

Cisco Expressway シリーズのリリース	第 1 修正済みリリース
X14以前	修正済みリリースに移行。
X15.5.3 以前	X15.5.20

注：この修正は、セキュリティアドバイザリ『Cisco Expresswayシリーズセキュリティ強化リリース：2026年10月』で公開されている広範な強化機能の一部としても含まれています。

シスコの Product Security Incident Response Team（PSIRT; プロダクト セキュリティ インシデ

ント レスポンス チーム) は、このアドバイザリに記載されている該当するリリース情報と修正済みリリース情報のみを検証します。

不正利用事例と公式発表

Cisco PSIRT では、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表は確認しておりません。

送信元

この脆弱性を報告していただいたJane Street社のStefan Aleksic氏に感謝いたします。

URL

https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-vcs-static-cred-hr7EWZ8t

改訂履歴

バージョン	説明	セクション	Status	日付
1.0	初版リリース	—	Final	2026年10月21日

利用規約

ソフトウェアのダウンロードおよびテクニカルサポート

Cisco.com の シスコサポート & ダウンロードページには、ライセンスとダウンロードに関する情報が記載されています。このページには、マイデバイス (My Devices) ツールを使用するお客様のカスタマーデバイスサポート範囲も表示できます。お客様がソフトウェアをダウンロードできるのは、シスコから直接、あるいはシスコ認定再販業者やシスコ認定パートナーを通じて調達されたもので、ライセンスが有効なものに限ります。

シスコから直接購入したがシスコのサービス契約をご利用いただいていない場合、また、サードパーティベンダーから購入したが修正済みソフトウェアを購入先から入手できない場合は、Cisco Technical Assistance Center (TAC) に連絡してアップグレードを入手してください。 無償アップグレードの対象製品であることを証明していただくために、製品のシリアル番号と、本アドバイザリの URL をご用意ください。

ソフトウェアのアップグレードを検討する際には、関連するシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、侵害を受ける可能性とアップグレード ソリューション一式を確認してください。いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成が新規リリースで引き続き正しくサポートされていることを十分に確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center (TAC) もしくは契約

しているメンテナンスプロバイダーにお問い合わせください。

利用規約の詳細

シスコは、商品適格性または特定目的への適合性に関する保証を含め、明示的か黙示的かを問わず、いかなる種類の保証も表明しません。前述の一般論に限定されることなく、シスコは、本情報の正確性または完全性を保証するものではありません。コンテンツは「現状のまま」提供されます。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本セキュリティアドバイザリに含まれる情報のコピーや要約には、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。本セキュリティアドバイザリの最新版については、シスコ セキュリティ アドバイザリ ページをご覧ください。Cisco Product Security Incident Response Team（PSIRT; プロダクト セキュリティ インシデント レスポンス チーム）は、このアドバイザリに記載されている該当するリリース情報と修正済みリリース情報のみを評価します。詳細については、シスコのセキュリティ脆弱性ポリシーを参照してください。

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。